

令和5年第4回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏名	質問順	氏名
1	青柳 信義	7	長谷川る美
2	出川 博一	8	渡邊 清美
3	畠山 由美	9	塩田 智明
4	浅野 直子	10	畑山 和晴
5	須藤 義	11	小松 大介
6	荒谷 敏	12	伊藤 嘉樹

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	11月14日(火)
受付時間	11:32

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月14日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 15 番 青柳 信義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	青柳 信義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 防災対策及び防災教育について

【質問要旨】－簡明に－

近年、地震や風水害など、甚大な被害が毎年のように全国各地で発生しています。災害から身を守る行動として、市民一人ひとりの普段からの物心両面の備えが何よりも重要です。特に本市は大きな山も川もなく、海にも接しておらず幸いなことに今まで激甚と称される大きな災害に会わずにきましたが、今後直下型の地震などが懸念されます。

防災は、個人や家庭、学校や地域、国や国際社会など、さまざまな組織との連携が必要であります。災害は予測できないものであり、自分の身を守るためには、自ら防災意識を持ち、防災知識やスキルを身につけることが重要であります。また、他者や社会の安全を支えることができるよう、防災教育やボランティアなどを通じて防災の価値観や責任感を育むことが必要であると考えます。

今後必ず起こりうる自然災害に備えて「自助」「共助」「公助」それぞれの役割の重要性を認識していかなければなりません。よって以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 令和元年度から自主防災組織の設置の推移をお伺いします。
- 2 一般財団法人自治総合センターで行っているコミュニティ助成事業のメニューのひとつである宮城県自主防災組織育成事業についての紹介を通して、当該事業を活用した町内会数及び金額をお伺いします。
- 3 地区の町内会館の防災備品（非常食、保存水、発電機、レスキューセットなど）の管理状況についてお伺いします。
- 4 安心安全メールの令和元年度からの登録者数推移をお伺いします。
- 5 防災訓練において、中学生とのかかわりを多く持たせた訓練の具体的な事例をお伺いします。
- 6 令和元年度以降、宮城県防災指導員の資格取得者数及び講習参加者数の推移をお伺いします。
- 7 MCA防災行政無線の防災以外の有効活用方法をお伺いします。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	11月14日(火)
受付時間	13:09

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月14日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	出川 博一
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 令和6年度予算編成基本方針は

【質問要旨】－簡明に－

予算編成は市長が予算案を作成し、年度開始前に議会の議決を経ることになっています。

市長の命を受け富谷市財務規則第9条の規定に基づき、令和5年9月29日付で「令和6年度予算編成方針」が各部課長に通知されました。

その中には予算編成基本方針が示されており、総合病院誘致のための土地取得等が予定されているとして、歳入確保についての検討や現状の財政状況に見合う事業の見直しへの取り組みを求めています。

以下、令和6年度予算編成方針について質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 成田二期北工業団地に関連するインフラ整備について。
- 2 地球温暖化対策実行計画の推進について。
- 3 図書館等複合施設整備について。
- 4 総合病院誘致のための土地取得について。
- 5 給食費無償化について。
- 6 歳入確保の具体的な検討は。
- 7 事業の見直しの具体的な検討は。

答弁を求める者 市長

議員名	出川 博一
質問方式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 どうなる 第9期介護保険料

【質問要旨】－簡明に－

「第8期介護保険事業計画」は、令和3～5年度を計画期間としており、今年度が最終年度になります。

7月末に全国介護保険担当課長会議が開催され、「第9期介護保険事業計画」の策定作業が本格化しているものと推察いたします。

第7期と第8期介護保険事業計画における、介護保険料の基準額は据え置きとなる月額5,750円でした。

令和6～8年度「第9期介護保険事業計画」の策定に当たり、今後の高齢者保健福祉施策について、3点の質問をいたします。

【質問項目】－列記－

- 1 介護保険料等を含めた高齢者を取り巻く最近の動向は。
- 2 第8期計画での各施策における目標指数の達成状況は。
- 3 介護保険給付事業において、第8期計画と実績値の差異分析は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	11月14日(火)
受付時間	15:21

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月14日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 5 番 嶋山 由美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 結婚支援にむけた取り組みについて

【質問要旨】－簡明に－

未婚化や晩婚化、非婚化が原因で、日本の婚姻率は低下し、少子化問題にまで繋がっています。1972年(昭和47年)は過去最高の婚姻数で、約110万組でした。ところが、2018年(平成30年)には約59万組と、ピーク時と比較して、50万組も減少している結果になっています。35～39歳の男性の約3人に1人は未婚で、女性も4人に1人が未婚という状況となっております。

本市においても例外ではなく、未婚率が高くなっております。その一番の要因は、「出会いの場」が無いことがあげられます。最近では、縁談を取りもつ人も少ないようです。

そのような現状の中、地方自治体が結婚支援にむけた取り組みに動いております。愛媛県では「えひめ結婚支援センター」を開設し、AIを活用してマッチング支援で成果を上げています。宮城県でも「みやぎ結婚支援センター『みやマリ』」を開設しており、今や20を超える自治体で独自の支援に取り組んでいます。未婚化問題は本人の問題だけではなく、社会の問題として捉え、本市においても出会いの場をサポートする支援策が必要と考え、以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 結婚支援に向けた取り組みが必要と考えますが、見解は。
 - 2 「地域少子化対策重点推進交付金」を活用した事業の実施に向けた取組は。
 - 3 県内多くの自治体で『みやマリ』の会員登録料の助成に取り組んでいますが、本市の見解は。
 - 4 宮城県や黒川地区で実施している結婚支援事業を「広報とみや」等で特集掲載するなど、多くの市民に周知してはと考えるが、見解は。
 - 5 常時結婚相談ができる窓口が必要と考えますが、見解は。
-

答弁を求める者 市長

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 生理に伴う欠席に配慮を

【質問要旨】－簡明に－

本年6月16日付で文部科学省は高校入学試験において、中学校側が記入する「調査書」に生理に伴う欠席が不利にならないように、配慮を求める通知を各教育委員会に発出しました。

本市の担当課に確認したところ、「すでに欠席日数が入学試験の合否に関わることはない」との回答を頂きました。しかしながら生徒や保護者には浸透しておらず、生理痛がひどくても我慢して出席している生徒も多いようです。市として改めて生徒や保護者に対する周知が必要と思います。

また、生理用品のサポートに関しても保管場所が保健室や、職員室など、学校によって対応が異なるようです。生徒によっては、職員室では言いにくいと聞いております。生理の支援について、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 生理に伴う欠席については、高校入試の合否に関係しないことをどの時期に、どのような形で生徒・保護者に周知していますか。
- 2 学校で準備している生理用品の保管場所を再度検討すべきと考えますが、見解は。
- 3 学校で突然生理になった時の対応について伺います。
- 4 小学校における生理の授業を現在の5年生から4年生に早めるべきと考えますが、見解は。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	11月14日(火)
受付時間	15:28

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月14日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 13 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 子育て支援事業について

【質問要旨】－簡明に－

今年4月、国における“子どもまんなか社会”「子ども家庭庁」が発足しました。それを踏まえて、各自治体における子育て支援のきめ細やかな対応が求められています。複雑で多様化した子どもたちが抱える課題に対する早期発見、相談体制の充実と連携など、本市における子育て支援事業について、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 国では親の就労の有無を問わない「子ども誰でも通園制度」について、試行的に事業を実施することとなりますが、今後に向けた本市の取り組みを伺います。
- 2 子育て支援の拡充に伴い「未就園児全戸訪問事業」について、本市の取組状況を伺います。
- 3 全国の小・中・高校合わせて、29万人以上となる不登校の児童、生徒がいる中で、小・中学生不登校の4割が相談や支援を受けていない状況にあります。不登校にはさまざまな要因が考えられますが、本市の状況と取り組みについて伺います。
- 4 国では、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策「COCOLOプラン」を取りまとめましたが、一人1台配備のデジタル端末を活用し、心や体調の変化を早期に発見し、支援につなげる取り組みについて、本市の現状と対策を伺います。
- 5 保護者の就労に伴う登校時間について、現状と課題を伺います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 物価高騰対策と有害鳥獣対策について

【質問要旨】－簡明に－

今般の物価高騰による支援対策として、冬季を迎えるにあたり、燃料費補助などの支援が必要という認識です。また、地域観光を支えるエネルギー価格高騰に対する緩和策や地域に不可欠な交通支援施策（介護タクシー等）など、今後に向けた取り組みを伺います。次に、改正道路交通法の施行により、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となり、ヘルメットの購入が必要となることから、18歳未満の自転車事故防止のため、ヘルメット購入費用の助成を求めるものです。

さらに、農林業・酪農家における飼料や電気代などの支援について伺うと共に、有害鳥獣対策として、特に貸農園でのイノシシへの対策支援について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 物価高騰に対する今後の対策と支援について伺います。
- 2 自転車ヘルメット購入費用助成についての見解を伺います。
- 3 農林業・酪農家に対する支援について伺います。
- 4 有害鳥獣対策と環境整備について今後の展開を伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	11月15日(水)
受付時間	11:25

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月15日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 4 番 須藤 義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	須藤 義
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 子育て世代への経済負担軽減政策について

【質問要旨】－簡明に－

本市では、令和5年度から「子ども医療費の無償化」、「学校給食費の完全無償化」と、子育て世代の経済負担を軽減するとともに、「地域全体で子どもたちを守り育てている風土を醸成していくこと」を目指した政策を実現してきました。また、この他にも、「第3子以降小学校入学祝金支給事業」や、「就学援助制度」等が行われています。

こうしたことから、一見すると子育て世代の経済負担軽減政策は十分であるかのように見えますが、厚生労働省が令和5年7月に発表しました「令和4年国民生活基礎調査」によりますと、昨今の物価高騰や各種税負担の増加などを背景に、「生活が苦しい」と感じる世帯が多いのが日本の現状、ひいては本市子育て世代の現状です。

本市では「子どもにやさしいまちづくり実践自治体」、「住みたくなるまち日本一」を掲げておりますので、全国の自治体に先駆けて子育て世代への更なる経済負担軽減政策を行っていくべきではないかと考え、以下のとおり質問致します。

【質問項目】－列 記－

- 1 厚生労働省発表の「国民生活基礎調査」や昨今の世相等を踏まえ、本市子育て世代が置かれている経済状況についての見解は。
- 2 本市では「子ども医療費完全無償化」、「学校給食費の完全無償化」を実現したので、子育て世代への、これ以上の経済負担軽減政策は必要ないと考えているのか、見解は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	11月15日(水)
受付時間	11:31

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月15日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 6 番 荒谷 敏

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	荒谷 敏
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 ゼロカーボンシティの推進について

【質問要旨】－簡明に－

本市では、令和3年2月に2050年までに地球温暖化対策に向けた二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指しゼロカーボンシティを宣言しました。

また、翌年には「富谷市2050年ゼロカーボン戦略」を策定し、昨年度より実現に向けてACTIONをスタートし、実証事業や環境教育など普及啓発に取り組んでおられます。

しかしながら、排出量を実質ゼロにすることは多くの課題があり、厳しいのが現状と思われま。実現に向けては市がパイオニアとなり、率先した取り組みを実施し、見える化を図っていくことが重要と考えま。

本市が目指すゼロカーボン社会の実現のための13の戦略について、以下の質問をいたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市保有の未利用地などに大型の太陽光発電の導入計画の具体策は。
- 2 公共施設への自家消費型の太陽光発電の導入計画の具体策は。
- 3 公共施設への省エネ性能の高い設備・機器の導入計画の具体策は。
- 4 公民館やスポーツセンター、武道館等のLED照明への切り替えは早急な対応が必要では。 ※水銀灯や蛍光灯の生産終了、輸入の禁止への早急な対応が必要
- 5 EVの促進について、特に、公用車のEVへの切り替え計画は。
- 6 家庭のエネルギー消費量収支をゼロにすることを旨した住宅の具体策は。
- 7 再エネ水素サプライチェーンの市内全域に普及する具体策は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	11月15日(水)
受付時間	14:55

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月15日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 12 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 東向陽台放課後児童クラブ建設及び児童クラブと学校との連携や情報共有について

【質問要旨】－簡明に－

東向陽台放課後児童クラブは、令和7年4月に校舎南側市道に面した小学校敷地内に、児童クラブ専用の建物が新しく建設されることになりました。本市において、最後の児童クラブ建設となりますので、現場の声をしっかりと生かして、子どもたちが快適に過ごせる居場所となること、さらに、学校等との連携や情報共有についても重要であると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 建物の規模と想定される予算額、また、クラブ棟の建設により現在の施設に及ぼす影響は。
- 2 240名定員にした算出根拠は。
- 3 定員240名規模の施設長の数や職員の配置・設備の基準も含めた基本的な運営方針は。
- 4 設計業務に、現場の声をいつ頃どの様に反映していきますか。
- 5 児童クラブと学校との連携や情報共有についてどの様に考えていますか。

答弁を求める者 市長

議員名	長谷川 美
質問方式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 骨粗鬆症対策の強化について

【質問要旨】－簡明に－

骨粗鬆症対策を強化し、骨を健康に保つことは、健康寿命を延ばすことであり、総合計画に掲げる「健康自慢のまち」づくりであると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 現在実施されている骨粗鬆症検診の現状と課題について。
- 2 健康寿命を延ばすと言う観点から、骨密度検査の対象を拡大した場合の課題は。
- 3 若年女性の骨粗鬆症予防に向けた包括的な取り組みについての見解は。
- 4 健康づくり活動や健康教室の実施状況と内容について。
- 5 国の「国民健康づくり運動プラン」の基本的な方針にある「行政だけにとどまらない多様な主体を巻き込んだ健康づくりの必要性」についての見解は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	11月15日(水)
受付時間	15:56

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月15日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 8 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	渡邊 清美
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 医療的ケア児(者)について

【質問要旨】－簡明に－

医療の進歩により、医療的ケアを受けながら在宅で過ごす方が多くなっています。全国的に増加の傾向にあるにもかかわらず、自治体による対応がまちまちです。

家族だけで抱えこんでしまう事例もあり、取り残さない対策が必要です。

また、災害時の個々の避難計画が重要と考えます。避難場所の確保や在宅避難時の支援等、特に電源の確保は命にも関わることです。

医療的ケア児(者)への個別支援計画の策定が急務と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市での医療的ケア児(者)の現状、全数の把握はされているのか。
- 2 医療的ケア児(者)及びその家族等からの相談状況は。
- 3 医療的ケア児(者)コーディネーターの配置はされているのか。
- 4 災害時の医療的ケア児(者)に対する個別計画の策定状況は。
- 5 災害時の電源確保はどのようになっているのか。
- 6 災害時の非常用品購入の補助の考えは。

答弁を求める者 市長

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 発達障害、支援が必要な児童生徒について

【質問要旨】－簡明に－

文部省の調査では、通常の学級に在籍し、教育的支援を必要としている児童生徒は、小中学校で8.8%、高校では2.2%であり、小中学校の35人学級であれば3人程度は支援を必要とする児童生徒です。

また、通級指導教室で指導を受けている児童生徒は小中学校で10.6%と年々増加しているものの、対応が十分に出来ていないのが現状です。

発達障害はいは多種多様であり、支援は個人のニーズに合ったきめ細かい支援が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画での発達障がい者への取組と、課題等が無いのか。
- 2 次期、第7期障がい福祉計画、第3期障がい児福祉計画での発達障害の位置付けと取り組みについて。
- 3 発達障がい児の教育現場の現状と課題は。
- 4 個人のニーズにあった支援はできているのか。
- 5 市内小中学校の通級指導教室の現状は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	11月15日(水)
受付時間	16:59

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月15日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 10 番 塩田 智明

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 住民税非課税限度額を仙台市並みに

【質問要旨】－簡明に－

個人住民税は、地域社会の費用負担を住民が広く分かち合う「地域社会の会費」的な性格を有する税であり、低所得者層に配慮する非課税規定が各自治体の級地区分を基本として、条例で定められています。

本市を含めた黒川地域の自治体は「3級地」に分類されおり、それを踏まえた住民税非課税限度額となっています。級地区分は、地域における生活様式や物価差による生活水準を踏まえ、国が定めたものですが、市制移行後の人口異動状況や就業・通学者の最近の状況から、富谷市の生活水準は、仙台市並みであると言えます。

現在、富谷市のパート主婦等には、住民税非課税の適用を受けるために、就業時間を調整して年収93万円までに抑えている方が少なくありません。

働き方も多様化しています。仙台市並みに年収100万円まで非課税となれば、実労働時間にして、これまでよりも約1か月分多く働くことができるようになり、女性活躍の環境整備に大きく寄与するものと考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 パート収入等の年収が93万円を超え100万円以下の住民税課税対象の人数は。
- 2 パート収入等で年収80万円から93万円以下で住民税課税対象外となっている人数は。
- 3 住民税の非課税規定を仙台市並みにした場合、個人住民税の減収額は。
- 4 女性活躍の支援、パート等短時間労働者への配慮の観点で、住民税非課税限度額を仙台市並みにすることについて前向きな検討が必要と考えますが、市長の見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議員名	塩田 智明
質問方式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 印鑑登録証明書発行をマイナカードで

【質問要旨】－簡明に－

仙台市で印鑑登録証明書を窓口で発行する際、マイナンバーカードが使えず市民から改善を求める声が上がっている問題が令和5年3月に県内のニュース番組や新聞等で大きく報じられました。

この問題は、仙台市で印鑑登録証明書を発行する際、コンビニエンスストアでは、マイナンバーカードを使える一方、窓口では使用できないというもので、「富谷市はどうか?」という市民の声がありました。

仙台市は改善のための条例改正案を令和5年10月議会に提出することになりましたが、本市は、現在もマイナンバーカードを使って市役所や出張所の窓口での印鑑証明書発行ができません。マイナンバーカードの普及啓発に取り組んでいる本市としては、改善が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 市役所や出張所の窓口でマイナンバーカードを使って印鑑登録証明書の発行ができませんが、これまでの検討経緯とその理由は。
- 2 市民の声やマイナンバーカードの普及が進んでいる状況を考慮し条例改正をすべきと考えますが、市の見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	10
受付月日	11月16日(木)
受付時間	9:44

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月16日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 11 番 畑山 和晴

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 「学びあい」の一層の発展を

【質問要旨】－簡明に－

「ぼくは5年生の時の夏に岩手県から富谷市に引っ越してきました。そこで学校によって学習スタイルが大きく違うことに最初は驚きました。前の学校では、相手や自分の考えを話し合う機会が少なく、一人で考え解決していかなければならないことが多かったです。富谷の小学校では、学びあいの体制で授業を受けることになってから、その問題が解決され、更に良いこともありました。班の皆で解決する一体感。そして、たくさんの人と交流することができたことです。自分の意見を友達に伝えることができたこと、自分の良いところを教えてもらう事で自信を持つことができたことです。」（富谷市内小学校 2020年3月 卒業文集より）

佐藤学東京大学名誉教授主宰の「学びの共同体」と連携を図りながら全市で取り組んできた「学びあい」が、しっかりと子どもたちに根ざしていることが感じ取れる文章です。教師と子どもたちが対面式の席で、教師主体の「教え込む」授業から、子どもたちが主体となり、友達と協働して「学びあう」授業への転換が図られていることも実感できます。

子どもたちの学びの環境の充実のために「学びあい」が一層発展されることを願って、以下の質問をします。

【質問項目】－列 記－

- 1 現在、市内全ての小・中学校で、教師主体の「教え込む」授業から子どもたち主体の「学びあい」に転換は図られていますか、伺います。
- 2 「学びあい」の成果は何ですか。またその成果を継承・発展させる方策について伺います。
- 3 「学びあい」の課題は何ですか。またその課題解決のためにどのような方策を取ってきましたか、伺います。
- 4 「学びあい」の推進には、教師の「学びあい」つまり研修が重要と思いますが、教師研修の具体的な取り組みを伺います。

答弁を求める者 教育長

議員名	畑山 和晴
質問方式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 障がいのある方の就労支援について

【質問要旨】－簡明に－

笑顔あふれる子どもたちに恵まれた本市において、社会福祉の資源について不安を感じています。一定数、一定割合から考えれば、子どもの数が増え、人口が増えれば、当然障がいのある方も増えていきます。三障がいといわれる身体・知的・精神障がいという「個性」を持つ方々にとって、「普通」な生活が困難であることは言うまでもありません。ましてや、三障がいについても重複して障がいを持つ方もおり、普通に学校に行きたい、普通に働きたいという希望を叶えることが難しいのです。

障がいのある方は、そのライフステージ毎に様々な社会資源が必要になります。未就学、就学環境、18歳を超えれば、放課後デイ等の利用が叶わなくなり、日中一時預かりや就労継続支援事業所という生活（仕事）の場が必要となりますが、十分とは言えない状況です。

誰ひとり取り残さない社会の実現に向け、障がいのある方も「住みたくなるまち日本一」と自信をもって言える富谷を作っていかなければなりません。

以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 現在の、障がいのある方に対する社会保障の在り方をどのように捉え、就労支援についての本市の取組を伺います。
- 2 障がいのある方の就労の高齢化問題について、どのような方策があるのか、伺います。
- 3 親が高齢、子が障がいの場合の対応方法を伺います。
- 4 本市で障がい者手帳（身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳）を所持している方の小・中・高校生の人数に基づいて、どのように分析して今後の就労の在り方を考えれば、どのような方策があるのか、伺います。
- 5 就労場所が遠方に多く、働くことを諦めたり、送迎等の負担が大きいとの声を保護者から多く聞きます。本市の就労できる事業所は非常に少ないと感じますが、どのように認識し、今後進めて行くべき方向性をどのように考えているのか、伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 1
受付月日	1 1 月 1 6 日 (木)
受付時間	9 : 5 7

一 般 質 問 通 告 書

令和 5 年 1 1 月 1 6 日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 1 番 小松 大介

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 食料自給率の向上と地産地消について

【質問要旨】

日本の食料自給率は非常に低く、先進国では最下位です。カロリーベースで37%ということですが、農業で欠かせない種や化成肥料はほぼ海外輸入に依存しており、さらには農業資材、燃料なども考慮すると10%を切るともいわれています。食料自給率の観点から見ても、環境負荷の軽減、地域経済の循環や食育の観点から見ても地産地消は非常に重要だと考えます。本市の課題に置き換えれば、子供たちの農業体験や市民農園の重要性にも着目する必要があると考えます。

本市の教育目標にもある、ふるさと「富谷」に誇りと愛着を育む教育の推進は非常に重要で、自然を大切にする心の育成は農業を通じた教育の中に取り入れていく必要があります。また、食品残渣も処理次第では有効活用でき、堆肥は肥料の自給率向上という観点で重要な資源に変わります。以上を踏まえ、以下質問いたします。

【質問項目】

- 1 富谷市産米の地産地消を進める意思と、具体的な計画があれば伺います。
- 2 学校給食に富谷市産の米や野菜はどの程度使用されているか伺います。
- 3 市民農園の利用推進で工夫していることがあるか伺います。
- 4 各小中学校において、農業体験の授業はどの程度の頻度で、どのような手法で行われているか伺います。
- 5 給食センターの食品残渣の処理方法の現状について伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	12
受付月日	11月16日(木)
受付時間	11:17

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月16日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 3 番 伊藤 嘉樹

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	伊藤 嘉樹
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 緊急車両の通行を妨げる狭路等対策について

【質問要旨】－簡明に－

緊急車両の通行に支障をきたす狭路やカーブ等が市内各地に散見されます。ここ最近では、今泉坂ノ下地区にて狭路により救急車が進入出来ず、近隣住民の所有する小型車を使用し患者の搬送を補助した事案や、とちの木一丁目では急な坂道の入り口がカーブとなっており、救急車の下面を擦った事案を耳にしております。

市民の安全安心な生活を守る為にも、緊急車両の通行を妨げる狭路等の整備は喫緊の課題だと考えます。

【質問項目】－列 記－

- 1 緊急車両、特に救急車の通行が出来ない市道等について、市民から要望のあった箇所や現在把握している箇所は。
- 2 既に把握している箇所の整備計画の現状を伺います。
- 3 狭路箇所等が今後新たに判明した場合の整備方針を伺います。

答弁を求める者 市長